

【報道関係各位】

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役社長 安達 保

「健康経営優良法人 2021（ホワイト500）」に認定

株式会社ベネッセホールディングスならびに株式会社ベネッセコーポレーションが
「大規模法人部門」において上位500社に認定

株式会社ベネッセホールディングス（岡山県岡山市：代表取締役社長 安達 保）および子会社の株式会社ベネッセコーポレーション（岡山県岡山市：代表取締役社長 小林 仁）は、2021年3月4日に経済産業省と日本健康会議が共同で選定した『健康経営優良法人2021』に認定されました。

両社は、「健康経営優良法人2021」の「大規模法人部門」1,801法人のうち、さらに上位500法人である「ホワイト500」企業としての認定となりました。



＜健康経営優良法人制度とは＞

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

【ベネッセの取組みと成果】

ベネッセグループでは、「企業理念「Benesse=よく生きる」のもと、2018年に「社員とその家族の健康維持向上に努めること」を健康宣言として発信し、グループ従業員が「イキイキ・ワクワク」働ける職場づくりを目指し、様々な健康維持増進施策を実施してきました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大により、事業現場や働き方、生活環境が大きな影響が生じるなか、当初分析していた当グループの健康課題に「コロナにも負けない」観点もプラスして施策に取り組みました。

また、健康施策の取組みの多くをオンラインで行い、相互コミュニケーションできる時間やチャット相談機能を設けることで講師との対話や参加者相互の交流も生まれました。また、活動を通して、従業員の健康的な行動習慣の定着化も図られつつあると評価しています。

- ご参考：「ベネッセグループの健康経営への取り組み」（ベネッセグループサステナビリティサイト）
：<https://benesse-hd.disclosure.site/ja/themes/110>

企業理念「Benesse=よく生きる」のもと「イキイキ・ワクワク」働ける職場づくりで社員の持っている能力を最大限に引き出すことが、ひいては「人の人生をより素晴らしくするサービス」を追求し、お客さまや地域・社会から支持される「なくてはならない企業」につながるよう、今後も健康経営を推進していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセホールディングス ブランド・広報部 濱野・齋藤・宮本・萩澤
TEL:042-357-3658 FAX:042-389-1757